
ITエンジニア・デジタル人材の“基礎”を築く！

2019年度 新入社員向けIT人材育成研修



C#言語

発想力

アウト
プット力

浜松開催

チーム
ワーク

株式会社浜名湖国際頭脳センター
株式会社ITSC

国立大学法人静岡大学名誉教授・八巻直一氏を主講師とし、「課題解決力を持つITエンジニア・デジタル人材の育成」を目指す新入社員向けIT人材育成研修を、4年目となる2019年度も開講いたします。

本研修は、他の研修にはあまり見られない5つの特長を備えたもので、これらを通じて今後のITエンジニア・デジタル人材に必要なスキルや考え方を身に付けていきます。

ぜひ、今後の貴社を担うITエンジニア・デジタル人材の育成の機会としてご検討ください。

■本研修の特長

次の5つから課題解決力を持ったITエンジニア・デジタル人材を育成します。

①C#言語で学べます

システム開発で数多くの場面で使われているC#言語を使用し、プログラミングの基礎を学びます。

②浜松で学べます

地元で学ぶことができますので、移動の時間負担・費用負担を最低限に抑えられるとともに、地元企業とのネットワーク構築の機会にもなります。

③発想力が身に付きます

IT産業の誕生・変遷や顧客である製造業の流れを学ぶことで、これからの仕事を生み出す発想力を身に付けます。

④チームで仕事を進めることを学びます

研修では常に課題を与えチームで解決する場を設けていきますので、チームでの仕事の進め方を体感することができます。

⑤アウトプット力が養われます

課題に向けた取組みの発表と日々のレポート作成を通じて、社会人に必要なアウトプット力を養います。

■開催概要

[日 時] 平成31年4月5日(金)～6月4日(火) 9:30～18:00
*休講日: 土日、4/27～5/6、第1・第3木曜日 (全34日間)

[会 場] オレンジビル (浜松市中区砂山町 348-12)
浜松駅南口より徒歩約5分

[対 象] 平成31年4月入社の新入社員
・第二新卒や中途採用者でも受講可能です
・入社2～3年社員の方でも受講可能です

[カリキュラム] 本研修は、以下の5つの講座で構成されています。

No.	研修コース内講座	日程
1	情報システム基礎Ⅰ講座	4/5(金)～4/17(水) 全9日
2	情報システム基礎Ⅱ講座	4/19(金)～5/8(水) 全8日
3	プログラミング講座	5/10(金)～5/20(月) 全7日
4	情報システム開発講座	5/21(火)～5/31(金) 全8日
5	データベース基礎講座	6/3(月)・6/4(火) 全2日

詳細は「**■研修カリキュラム**」をご参照ください。

※上記研修コース内の講座を選択受講することも可能です。その場合の前提条件を以下に記します。

- ・情報システム基礎Ⅱ講座の受講は、情報システム基礎Ⅰ講座の受講知識レベル程度を有すること
- ・情報システム開発講座の受講は、プログラミング講座の受講知識レベル程度を有すること

[定 員] 20名(最少催行人数10名)
定員になり次第〆切ります

[受講料] 612,000円(税別)/660,960円(税込) テキスト代込

[助成金] 以下「人材開発支援助成金の活用」をご参照ください。

[企 画] 株式会社浜名湖国際頭脳センター

[実 施] 株式会社ITSC

[後 援] NPO法人浜松ソフト産業協会(予定)

〈人材開発支援助成金の活用〉

以下の助成金を活用できる可能性があります。

若年人材育成訓練(特定訓練コース)

- ①対象者 雇用契約締結後5年以内かつ35歳未満の雇用保険の被保険者
- ②対象訓練 Off-JTによる訓練
- ③助成内容 賃金助成: 中小企業760円/時 大企業380円/時
経費助成: 中小企業45% 大企業30%

※上記の助成金活用には「2018年8月以降、事業主都合による解雇や退職勧奨がない」「事業内職業能力開発計画を作成している」「計画届を訓練開始1カ月前(2019年2月末)までに都道府県労働局に提出する」「支給申請を訓練終了後2カ月以内に都道府県労働局へ提出する」など条件があります。

■研修カリキュラム

本研修は、次の5つの講座で構成されています。

1. 情報システム基礎Ⅰ講座

【概要】本講座は社会人として働く上で必要な基本概要知識を学びます。

【日程】4月5日（金）～4月17日（水）9：30～18：00 / 全9日
休講日：土日

【講師】八巻 直一（国立大学法人静岡大学名誉教授（工学博士））

【科目】「産業の歴史と基礎技術」（67.5時間）

産業の勃興と歴史をなぞり、産業が成立して以来、特に日本における産業の歴史と現状を学びます。講座を通じて、この世界に乗り出す新人技術者が、何を学び、どのような仕事が行っているか認識してもらいます。

- 工業の誕生と現代のモノづくり
- 工場生産と生産計画
- 日程計画とPERT
- 技術者に必要な資質
- 生産管理とその歴史
- プロジェクト型の仕事とプロジェクト計画
- PMBOK
- 情報産業の歴史と現在

2. 情報システム基礎Ⅱ講座

【概要】本講座はソフトウェア構築の全体像と情報システムの管理概要知識を学びます。

【日程】4月19日（金）～5月8日（水）9：30～18：00 / 全8日
休講日：土日、4/27～5/6

【講師】八巻 直一（国立大学法人静岡大学名誉教授（工学博士））

田中 和彦（株式会社システム計画研究所 研究員）* | SMS担当

【科目】「ソフトウェア構築の基礎」（60.0時間）

コンピュータの歴史や情報基盤の変遷をつうじてソフトウェア構築の全体像をつかむとともに、オートマトンや開発技法などの技術的基礎知識と | SMSなどマネジメントの基礎知識を学びます。

- コンピュータの歴史と現在
- オートマトン
- | SMS
- 情報基盤の変遷
- ソフトウェアの開発技法
- 新しい流れ

3. プログラミング講座

【概要】本講座はC#言語を使いソフトウェア開発におけるプログラミングの基礎を学びます。

【日程】5月10日（金）～5月20日（月）9：30～18：00 /全7日

休講日：土日

【講師】堀 格人（株式会社システム計画研究所 研究員 兼 静岡大学情報基盤センター 客員教授）

【科目】「ソフトウェア設計基礎」（6.0時間）

ソフトウェア開発プロセスの基本を学びます。

- ・問題分析と調査及び検討の進め方
- ・プログラムの目的と仕様の決め方
- ・入出力の考え方
- ・プログラムの枠組みの考え方
- ・テスト方法の考え方

「C#プログラミング」（46.5時間）

C#プログラミングの基礎を学び、練習課題を実装します。

- ・C#プログラミング技術の概論
- ・C#開発環境導入（開発環境と開発手順）
- ・C#言語の基礎
- ・クラス（オブジェクト指向、パッケージとスコープ）
- ・クラス拡張、継承
- ・再帰処理、例外処理
- ・クラス図、C#API等

4. 情報システム開発講座

【概要】本講座は、具体的なシステムを取り上げ、情報システム開発の上流工程から実装までの一連の作業の流れを実習体験し学びます。

【日程】5月21日（火）～5月31日（金）9：30～18：00 /全8日

休講日：土日、5/23

【講師】堀 格人（株式会社システム計画研究所 研究員 兼 静岡大学情報基盤センター 客員教授）

【科目】「システム開発実習」（51.0時間）

数人のチームを作り、チーム内における作業分担や推進計画などを組み立て、同一課題を設計から実装・テスト・納品までをスパイラルモデルによるシステム開発を体験します。

- ・開発要件説明と開発計画
- ・要件定義と基本機能設計
- ・基本機能実装とテスト
- ・拡張機能設計
- ・拡張機能実装のテスト及びアルゴリズム強化
- ・テストとドキュメント update
- ・納品

「開発物件評価」（9.0時間）

開発したシステムの評価とレビュー及び、マネジメント報告を実習いたします。

- ・中間評価とレビュー
システム開発実習作業途中のチーム進捗状況を発表します。これにより各チームの進捗具合を互いに確認し合い、自チームの推進レベルを再確認します。
- ・最終評価とレビュー及び、マネジメント報告
開発した成果物をチーム対抗比較し品評します。この開発実習成果として、設計と実装及びプロジェクトマネジメントは上手く学習成果が活かされたか振替を行い学びます。

5. データベース基礎講座

【概要】本講座は「データベースの概念と論理設計」の基礎を学び、実際に実装し体験学習します。

【日程】 6月3日（月）・6月4日（火）9：30～18：00 / 全2日

【講師】 長澤 和樹（株式会社システム計画研究所 研究員）

【科目】「データベース構築」（15.0時間）

- データベース概念
データベース概念を、データとは何ものかを捉え、身の回りのデータの利便性やデータベースの導入効果及びデータベース事情から学びます。
- データベース論理設計
データベースのシステム化に向けて、データベースのファイル編成を学び、データベースの論理設計をデータベース間の関係と操作から学びます。
- DBMS実装
データベース言語による実装をデータモデルを意識し、一連のデータベース構築プロセスを具体的な実習から学びます。

その他

- 最終日に、研修で学んだことの発表を、受講者お一人ずつに行ってもらいます。
この発表には、例年、各社の経営者様やご担当者様にも見学にお越しいただいております。
- 9～10月の時期（2時間半程度）に、研修後、3カ月間業務に就いた感想や研修で活かしていることなどプレゼンテーションの機会を設けております。（日程は、後日調整いたします）

■お申込方法

別紙の申込書に必要事項をご記入の上、
FAX（053-401-8227(株)ITSC 宛）にてお送りください。

■お問合せ先

ご質問などございましたら、お気軽にお問い合わせください。

株式会社 I T S C 担当：市川
TEL 053-401-8226 Mail ichikawa@itsc-ltd.co.jp

株式会社浜名湖国際頭脳センター 担当：米良
TEL 053-416-4002 Mail jinzai@hamanako.co.jp

